

おおさわコモンズ通信

発行：令和8年2月
三鷹市国立天文台周辺地区
まちづくり推進本部事務局

「新都市再生ビジョンに係る施策・事業の緊急対応方針」に伴う国立天文台周辺地域土地利用整備計画の対応について、説明を行いました。

12月22日（月）に開催された第5回検討委員会では、第1回から第4回検討委員会でのご意見を踏まえて、土地利用整備計画の案をお示しする予定でしたが、11月に市が策定した「新都市再生ビジョンに係る施策・事業の緊急対応方針」に伴い、今後の土地利用整備計画の策定スケジュール等について見直しが必要となったことについて、説明を行いました。

同方針では、昨今の物価高騰や人材不足、これらに起因する公共事業の入札不調などの社会経済情勢を踏まえ、国立天文台周辺まちづくりを含む優先プロジェクトについて、整備の全体像を想定しつつも、必要最小限の整備内容を厳選するとともに時期を慎重に検討し、現在の社会経済情勢の中で実現可能なプランへと転換すること、また、その後の整備等については、市民ニーズや財政状況等を勘案し、段階的な整備等を検討することとしています。

検討委員会のとりまとめを行い、各班で感想や意見を共有しました。

今回の検討委員会では、第4回検討委員会までの意見を踏まえ、市が用意した配置の考え方を含む「検討委員会のとりまとめ（案）」について説明を行い、内容に異議がなかったため、確定としました。

また、グループワークでは、これまでの検討委員会に参加した感想や今後の期待など、全体を通じて、各班で意見交換を行いました。全体発表では、各班から主な意見について報告がありました。

全5回にわたる検討委員会でいただいた意見や提案を大切に、検討を引き続き行なっていきます。

令和7年度 検討委員会の経過

9/10	第1回	地域の共有地「おおさわコモンズ」の在り方、使い方 ～地域の人が集まり利用しやすい共有地にするために～
9/24	第2回	『みんなが集う地域の共有地「コモンズ」ってどんなところ？』
10/26	第3回	『地域の共有地となる地域交流スペースや機能ってどんなのだろう』
11/6	第4回	『配置案（ゾーニング）への意見交換』
12/22	第5回	『とりまとめ』

第5回検討委員会 次第

- 三鷹市挨拶（国立天文台周辺地区まちづくり推進本部 本部長、副本部長）
- 前回ワークショップの振り返りについて
- 検討委員会のとりまとめ（案）について
- グループワーク



検討委員会のまとめ『配置の考え方』

【第七中と新校舎との関係】

- 普通教室は、義務教育学校として各学年をどのように配置し、どのように交流を促すかにより、第七中との関係性が変わるため、継続した検討が必要。(小中学生で敷地を分けるか、混在させるかで学校の在り方も変わる)
- 子どもたちの安全性確保のため、新校舎と第七中をつなぐ渡り廊下が必要。
- 特別教室は1階に配置することで、子ども・地域の利用が感じられるようにする。

【グラウンドとの関係】

- グラウンドは第七中側と新校舎側の2つの利用を前提に、グラウンドとの距離に配慮した位置に普通教室を配置。

【地域利用との関係】

- 地域図書館は、学校生活を最優先に、多様な方の利用を想定するとともに、緑を活かした空間とするために、敷地東側に配置する。

- 一般利用を想定したプールを配置し、暑さ対策として屋内化も検討。

【セキュリティとの関係】

- 1階は地域も利用する機能（地域図書館、特別教室等）を配置し、2階以上に普通教室を配置することで、階層的なセキュリティラインを設定。

- 学校の地域開放については、子どもが使用していない時間帯等、時間により子どもと地域のセキュリティラインを分ける。

グループワーク「検討委員会に参加した感想や今後の期待について」を開催

■検討委員会に参加した感想

- ・4回の検討委員会でしっかりと話し合いができた。
- ・子どもたちのことや自然との共存について、よく考える機会となった。
- ・全体的に地域愛を感じて、非常に地域のことを考えている人たちの集まりだった。
- ・天文台の中にある学校はすごく夢があり、聞いたときにワクワクした。
- ・この先10年、20年後も意見を出し合えるような関係を続けていけたらと思う。

■今後の期待について

- ・全部の意見がまとまらないと動き出せないとなると、時期が遅れてしまうので、優先順位をつけて進めるべき、緊急度の高いもの（防災など）、安全・安心に関わるものから順次進めていくやり方をしてほしい。
- ・今回の想いを大切にして、時間がかかるても良い学校、後で作り直しする必要がない学校、自然との共存ができる学校など、他のモデルとなる学校を目指してほしい。
- ・新しい施設ができるまでの過程で話し合うことも大事だが、できてからの運営をどう続けていくかも大事。
- ・予算が縮小された場合、学校を優先的に計画してほしい。
- ・西部図書館は、建て替え時期まで移転しない方法も考えてほしい。
- ・プールは、無理して作らず民営スクールを活用する方法も考えてほしい。
- ・自転車と歩行者の分離や、無人トラム（自動運転路面電車）のようなもので、安全に通学できるような環境を考えてほしい。
- ・人材活用できるまちづくり、人と人がつながれる場所を考えてほしい。

■委員長のまとめ

- ・学校をしっかりと見据えながら、学校を中心において計画を進めてほしい。
- ・生命が重要であるため、そのことを考えると避難できる空間が必要である。
- ・今回のスケジュール見直しにより、整備まで時間がかかると思われる。社会情勢、経済情勢がどう変わるか、実施の判断が出る前に、進捗状況に応じて、このような場を持ちながら、見直す機会ができれば良い。

国立天文台周辺のまちづくりに関して、ご意見等がございましたら、問合せ先までご連絡ください。国立天文台周辺のまちづくりHP

問合せ先：三鷹市国立天文台周辺地区まちづくり推進本部事務局

電話 まちづくりに関すること：0422-24-9266 / 教育に関すること：0422-29-8349

FAX：0422-45-1271 / Mail：tenmondai-honbu@city.mitaka.lg.jp

